

日本美術を「観る」から「買う」へ

加島美術「美祭 -BISAI-」開催



池大雅 二行書 春風…
画面：136 × 28cm
全体：188 × 40cm
内容：紙本
¥350,000



円山応挙 登龍門
本紙：130 × 38cm
全体：208 × 52cm
内容：紙本 水墨
¥1,300,000



伊藤若冲 鶏図
本紙：125 × 53cm
全体：214 × 65cm
内容：紙本 水墨
¥2,800,000



川合玉堂 浜村早春
画面：49 × 60cm 全体：155 × 76cm
内容：紙本 着色 共箱
東美鑑定証書 玉堂記念館登録
¥3,300,000

美祭 -BISAI-

4月25日(土)～5月6日(水)
10:00～18:00
会期中無休

加島美術
東京都中央区京橋3-3-2
03-3276-0700
<http://www.kashima-arts.co.jp/>

年に2回、春と秋に催されて人気を集めている加島美術の美祭。「より多くの方々に日本美術の多彩な魅力を発信する」をテーマにし、ミュージアムビークス級の作品が展示されることでも知られている。17回目を迎える今回は、伊藤若冲、円山応挙ら、450点近くが展示販売される。なかでも「再発見」以来、

人気が続く伊藤若冲の「鶏図」は見逃せない。展覧会や美術館で若冲の作品を観る機会はあるものの、購入を前提として作品と向き合うことはなかなか難しい。美術館のようなガラス越しではなく、実際に手の届くようなプライベートな空間で作品を観るほどに、作品の持つダイナミックな美しさが伝わってくる。また、美祭の最大の魅力は、観るだけでなく、購入できることである。日本美術の真髄に触れ、心に残る作品を自分のものにするのはいかがだろうか。なお、今回の出展作を網羅した豪華カタログを無料プレゼントしている(下記参照)。

